

デジタルトランスフォーメーション(DX) による天然記念物の見える化

農学研究科・教授 石井弘明

事業概要

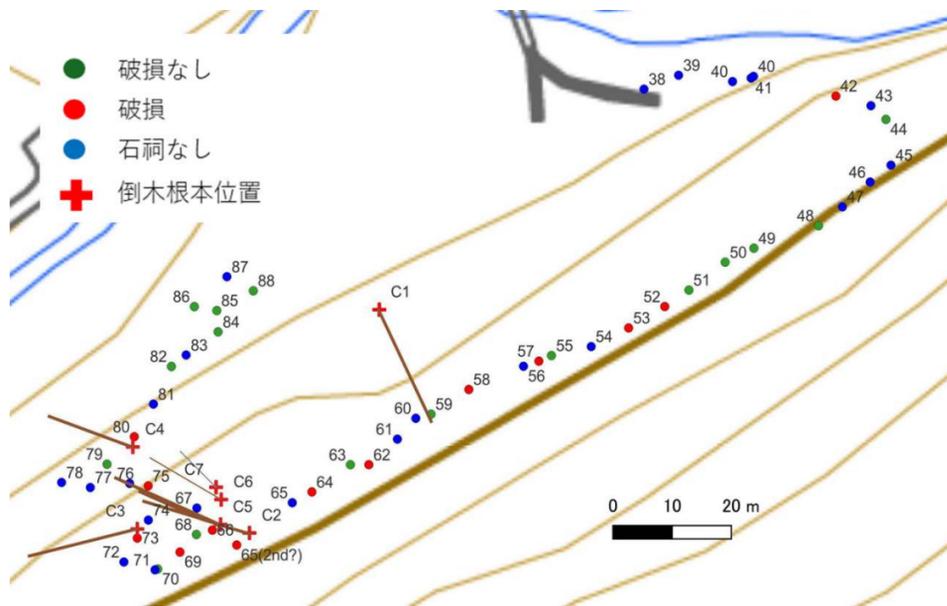
本研究の目的は、指定文化財（天然記念物および建造物）を3次元デジタルデータとして保存し、その情報を文化財の保全と管理のために活用すると同時に、インターネットを通じて文化財の位置情報や立体映像等を公開し、その認知度を高め、価値を広く理解してもらうことである。

2024年度は神戸市西区の太山寺の寺有林（兵庫県天然記念物指定）において、倒木や土砂崩れによって損壊した石仏めぐり歩道のGPS測量を行い、地理情報システム（GIS）に座標化した。

現地調査



GPS測量による石仏の位置測定



石仏および倒木のGIS位置地図

石仏の破損状況



倒木による損壊



土砂崩れによる損壊

今後の展望

今後は神戸市内の他の天然記念物や保護木について、デジタル化を行う。また、西宮市、姫路市など他の自治体との連携も進め、全国の天然記念物についてのデータベース構築に貢献する。さらに、天然記念物に限らず、市街地の街路樹を含むすべてのグリーンインフラを効率的に管理するためのデジタルアーカイブ化も目指す。

連携した団体：神戸市地域協働局、神戸市環境局、太山寺